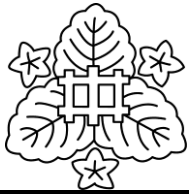


2014



石神井中だより

平成26年11月13日 発行 11月号

- 明るく、健康な生徒
- 正しい判断力を持ち、主体的に
学び行動する生徒
- 豊かな情操を持ち、品位ある生徒

<http://www.shakuji-j.nerima-ky.ed.jp/>

文化の秋から学問の秋へ

副校長 松本 久

立冬も過ぎ、今年も残すところ、あと1ヶ月半となりました。北国からは雪の便りが届く季節です。本校では、文化発表会や連合音楽会などの文化的行事を通して、『文化の秋』を堪能しました。その中でも、本校の2大行事の一つになっている文化発表会は大変盛り上がった素晴らしい行事になり、大成功で終わることができました。合唱コンクールでは、金賞を目指して頑張ってきた熱い思いを胸にステージに上がる様子から、どの学級からもその熱い思いや緊張が伝わってきました。合唱が好きな人ばかりではありません。歌を歌うことが嫌いな人や音をとるのが苦手な人など、いろいろな人がいます。どの学級も様々なことを乗り越えて、一致団結して表現した合唱は本当に素晴らしいものでした。3年生にとって中学校生活最後の合唱は、最後の追い込みでしっかりと仕上げ、とても素敵な歌声を聴かせてくれました。新たな素晴らしい伝統を後輩に引き継ぐことができたとと思います。合唱も日頃の学習もやればすぐできるわけではありません。小さな努力を少しずつ積み重ねてでき上がるものです。日頃の努力の積み重ねの結果が、今回の素晴らしい合唱を作り出したのだと強く感じました。

ここで、「努力」についての名言を一つ紹介したいと思います。(発言者不明)

努力して結果が出ると、自信になる。
努力せず結果が出ると、傲り(おごり)となる。
努力せず結果も出ないと、後悔が残る。
努力して結果が出ないと、経験が残る。

さて、『文化の秋』の次は、『学問の秋』です。11月20日(木)から11月21日(金)は中間考査です。3年生は進路選択に向けての面談や面接練習を行っています。自分の夢の実現に向けて、自分で選択する進路ですので、とても大切で厳しい時期になってきます。最後まで気を抜かずに全力で取り組んで欲しいと思います。

◆ 留学生を招いた国際理解教室

10月14日(火)3年生とI組の生徒は総合的な学習の時間に留学生を招いた国際理解教室を行いました。生徒たちはトルコ・ウクライナ・中国・キルギス・エジプト・韓国・マレーシアからの留学生の話や民族衣装、様々な写真などを通して日本との違いを知ること、改めて自国の素晴らしさに気づくことができたようです。また、留学生からは、「熱心に話を聞き、積極的に質問してくれてうれしかった」「民族衣装を着てみたいと何人かが立候補してくれて授業がやりやすかった」「廊下に掲示された事前学習の作品は、グラフや絵を使うなど工夫を凝らしたものがたくさんあり、感心しました」という感想をいただきました。